

45周年富津中央ロータリークラブ5年間の歩み 2007－2012



新舞子海岸と磯根崎



国際ロータリー第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立：1966/10/13 加盟承認：1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized：Oct/13/1966 Chartered：Dec/12/1966

刊行のことば

45周年委員会
委員長 佐藤信泰



当クラブは1966年、大佐和ロータリークラブとして創立し、10年を機に富津中央ロータリークラブと改名、以来2011-2012ロータリー年度に創立45周年を迎えました。

45年前、超我の奉仕を目指して集結した33名のチャーターメンバーは現在遂に僅か1名となり、半世紀を目前に歴史の重みを痛感させられる次第です。私共にとってこのような記念すべき日を迎えようとする矢先の2011年3月11日、我が国では予期せぬマグニチュード9の巨大地震が発生、東日本を襲いました。死者、不明者は2万人を超え、死因の多くは水死で、津波の高い所では15m以上になったと言われます。

この時代を生きる国民にとっては未曾有の出来事でした。災害は大震災に加え大津波という自然災害から人為的災害でもある原子力発電事故へと波及し、原発依存の見直しや復旧、復興が求められ、生活環境のあらゆる面で価値観や概念を変えざるを得ない状況となっております。

このような状況下では国を挙げて被災地を支援する年となり、義援金を募りまずはロータリアンとしての奉仕活動を優先いたしました。

尚、奉仕と親睦を基軸とした周年事業に対しては地元浅間山の豊かな自然を生かすプロジェクトへの支援、姉妹クラブである台湾嘉義南区扶輪社、甲州市塩山ロータリークラブとの交流推進及び「45周年富津中央ロータリークラブ5年間の歩み2007-2012」とする記念冊子を作成することと致しました。

この冊子には過去5年間の詳細な記録を各年度の会長に、ロータリーの思い出に残る記事を会員有志に寄稿をお願いいたしました。又、久しぶりに企画いたしました会員のプロフィールも加え、45年の歴史の一部を刻むと同時に貴重なクラブの資料となることを期待するものです。

目 次

刊行のことば	45周年委員会委員長 佐藤 信泰	1
活動記録		
第42代会長	大網庄一郎	4
第43代会長	高島 治雄	7
第44代会長	志波 克	12
第45代会長	原田 雅式	17
第46代会長	小野 恒靖	21
自由投稿（ロータリーの思い出他）		
退会二度の危機	千葉 一利	26
入会の思い出	榎本 守男	27
思い出	原田 雅式	28
ロータリーに感謝	平川 恵敏	29
思い出のガバナー補佐時代	石渡 鋼	30
思い出	小野 恒靖	31
ロータリーの友委員の思い出	三枝 一雄	32
交換学生引率京都奈良見学記	志波 克	33
ロータリーに入会しての思い出	須藤 隆	35
「四つのテスト」その由来と解釈	若鍋 武良	36
会員紹介		
千葉 一利、榎本 守男		38
原田 雅式、平川 恵敏		39
石渡 鋼、刈込 一弥		40
三井 進、小野 恒靖		41
大網庄一郎、佐藤 信泰		42
三枝 一雄、志波 克		43
白石 幸久、須藤 隆		44
高島 治雄、高橋 裕之		45
若鍋 武良、渡辺 務		46
山田 昌雄		47
40周年誌に追加する5年間の記録		48

活 動 記 録

2007（平成19）年7月～2012（平成24）年6月

第4 2代会長 大網庄一郎

2007～2008年度（平成19～20年度）

見つめよう四つのテスト

会長 大網庄一郎 幹事 原田雅式

RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン

RI会長テーマ ロータリーは分かち合いの心

Rotary Shares

地区ガバナー 白鳥政孝

ガバナー補佐 椎熊邦広



入会4年目に、前年幹事に引き続き会長を仰せつかりました。初例会の時、当クラブ名誉会員である佐久間市長より「大概是幹事の後一呼吸置いての会長職だと思うが、引き継いでの会長職で大変ですががんばってください。」と慰めと激励を頂き、私の年度のスタートが切られました。

この前日、7月4日、館山自動車道の全線開通も5年前のことでした。

活動目標

RI会長及び白鳥ガバナーの方針に沿って、当クラブの目標を次の通り設定しました。

1. 親睦の機会を増やし、一層のコミュニケーションを図る。
2. 会員増1名を目指す。
3. 行事、会議に積極的に参加する。

活動の概要

8月 毎年恒例のマザー牧場での移動例会



次期ガバナー補佐として石渡鋼会員を届け出。

9月 富津、富津中央RCの合同ガバナー公式訪問。さゞ波館に於いて。

10月 お月見夜間例会

気忙しい下界を離れて、鹿野山仏母寺にて句会。

12月 年次総会

白石指名委員長より、次の通り発表があり、全員一致で承認された。

2008～2009年度 2009～2010年度

会長 高島治雄

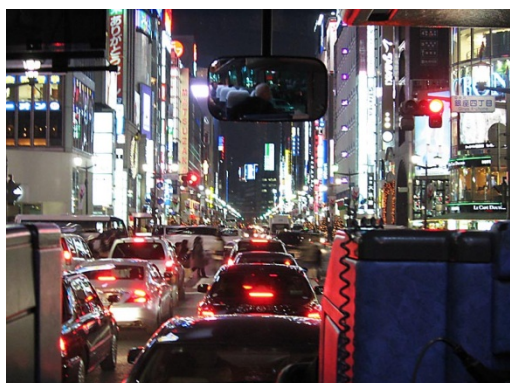
志波 克

幹事 佐藤信泰

榎本守男

今年度最後の例会は奥さんを交えて夜の東京へ。

上野鈴本演芸場→マザー牧場経営の
有楽町焼肉店→夜の東京ミッドタウン



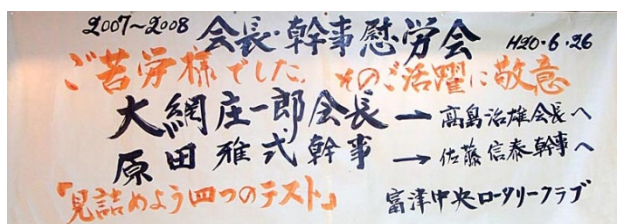
1月 新年初例会 年頭所感

2月 渡辺務会員 4月の富津市会議員選挙に立候補を表明。

3月 7日～9日 第3470地区（姉妹クラブ嘉義南区扶輪社・陳仁徳ガバナー）
地区大会に出席のため訪台。



- 3月 22日元会員でチャーターメンバーの松田和雄先生がお亡くなりになりました。刈込、石渡、榎本会員より松田先生を偲ぶ思い出話がありました。
- 4月 渡辺務会員 富津市議会議員選挙で初挑戦ながら、堂々2位で当選。
- 5月 市内三クラブ合同例会（於：喜楽館）。この席上当クラブ会員飯倉清種氏が今朝死去されたことを報告し、当クラブの規定に従い、全員で黙祷を捧げました。
- 6月 26日最終例会。会員・家族による慰労懇親例会。



次期会長・幹事夫人

第43代会長 高島治雄

2008～2009年度（平成20～21年度）

和の心を深め合おう

会長 高島治雄 幹事 佐藤信泰

RI会長 李東建

RI会長テーマ 夢をかたちに

Make Dreams Real

地区ガバナー 崎山征雄

ガバナー補佐 石渡 鋼



2008～2009 富津中央RC 役員・理事・委員名簿

役員	会長 高島治雄	会長エレクト・副会長 志波 克
	幹事 佐藤信泰	会計 白石幸久 SAA 千葉一利
	副幹事 榎本守男	副SAA 三井 進 永島 強
	監査 伊藤一夫	千葉一利
理事	高島治雄	志波 克 大網庄一郎 永島 強
	小野恒靖	白石幸久 三井 進

クラブ奉仕委員長 志波 克

委員会名	委員長	副委員長	委員
出席	原田雅式	白石幸久	榎本守男
職業分類	伊藤一夫	永島 強	三枝一雄
クラブ会報 雑誌・広報	志波 克	高橋裕之	渡辺 務 佐藤信泰 原田雅式
親睦	平川恵敏	原田雅式	榎本守男 須藤 隆
会員選考・増強	永島 強	伊藤一夫	三枝一雄
プログラム	千葉一利	大網庄一郎	石渡 鋼
ロータリー情報	小野恒靖	平川恵敏	高橋裕之

委員会名	委員長	副委員長	委員
職業奉仕	三井 進	榎本守男	原田雅式
社会奉仕 新世代育成	白石幸久	渡辺 務	須藤 隆
国際奉仕 世界社会奉仕	小野恒靖	志波 克	大網庄一郎
ロータリー財団	大網庄一郎	千葉一利	高島治雄
米山奨学	永島 強	刈込碩弥	佐藤信泰

2008～2009 第4分区 ガバナー補佐 石渡 鋼
 分区幹事 渡辺 務 高橋裕之

I 本年度運営の基本方針

今、富津中央公民館前の旧横山庭園跡の桜が満開である。これは当クラブ創立30周年に記念植樹したものである。あれから15年の樹齢を重ね、美しい花が咲き続けている。その時私は会長としてお世話になっていたが、当時は会員42名を擁する中堅クラブであった。この度二度目の会長に指名され、今、会員数19名。どんな組織も100年を経ると硬直化し疲弊してくると言われるが、まさに当クラブもその姿歴然である。

この現状をしっかりと認識し、小規模のロータリークラブではあるが、充実感を持ち得る運営とその活動をいかに進めたらよいか課題である。

ここで、ロータリークラブ誕生の原点を思い起こし、今年度、クラブのテーマを「和の心を深め合おう」と定め、これを活動の基盤に据えて、活動を具体化したいと思う。

II 活動計画とその具体化 () 内が具体化

- 1) 会員増強を積極的に進める。(目標2名以上)
- 2) 年間プログラムの充実を図る。(全会員卓話の実施・親睦の質と量の充実等)
- 3) CLPの理解を深め導入する。(組織の組み替え・運営の活性化の試み等)
- 4) Make Dreams Real のテーマへのアプローチを図る。

(会長挨拶や卓話の内容、例えば水・飢餓・識字率・エコ問題等へのかかわり)

- 5) 姉妹クラブとの親善・交流を深める。(塩山RC・台湾嘉義南区扶輪社の訪問)
- 6) 和の心を持って地域ニーズに応える奉仕活動に努める。

(社会奉仕、青少年健全育成への助成等)

III その実践の記録と歩み

1) ガバナー補佐誕生

(その1) 石渡鋼ガバナー補佐の誕生

当富津中央ロータリークラブから石渡鋼会員が第4分区ガバナー補佐に選出された。その人柄と豊かな発想力・会話力に期待する。当クラブも大いに協力と支援をしたい。



(その2) 石渡ガバナー補佐の企画によるIMが2009.2.13 アカデミアホールにて開催された。当クラブはホストクラブとして進行を手伝った。



- 2) 会員増強に対する会員の意識の高まり、並びに永島強会員増強委員長の積極的な活動の結果、目標2名を上回る3名の新会員が誕生。
須藤隆会員、山田昌雄会員、大須賀三智男会員

3) Make Dreams Real のテーマへのアプローチの試み

シリーズ的・意識的会長挨拶の実施

(その1) 水資源・飢餓シリーズとして

- ①世界の11億人が安全な飲料水を確保出来ない (No.2081)
- ②1ヶ月に使う水の量 (No.2082) ③バーチャルウォーター (No.2087)
- ④飢餓人口 (No.2099) ⑤食料自給率 (No.2101)

(その2) 明るい話・心に染みる話シリーズとして

- ①ローマ首相の七夕短冊 (No.2073) ②ある中学生の話 (No.2077) ③長寿の村 (No.2094)
- ④人生カキケコ (No.2078) ⑤盲目のピアニスト辻井伸行氏優勝 (No.2114)
- ⑥ハドソン川の奇跡 (No.2095)

4) 2008.9.16 ガバナー4クラブ合同公式訪問の開催

木更津東RC、富津シティRC、君津RC、富津中央RC

各クラブの発表

富津シティRC 浜名会員「天網恢々疎にして漏らさず」

君津RC 小幡会長「君津RCの奉仕活動」

富津中央RC 高島会長「当クラブの現状と活動の具体化」

木更津東RC 青木会員「会員増強について」

会員卓話

富津中央RC 三枝一雄「家族の絆」 右写真



5) 和の心を深める質と量の充実

[A] 国内外の姉妹クラブとの親善交流会を開催する

(その1) 2008.9.25 家族

ぐるみで姉妹クラブ塩山RCとぶどう狩り移動例会の開催。原田親睦副委員長の肝いりで充実したプランによる楽しい交流会となった。



(その2) 2009.5.30 姉妹クラブ塩山RCとの合同例会の開催 於：富津ひろ寿司



飯島塩山RC会長、岡部幹事、風間エレクトを始め、会員の皆さんの訪問を頂き合同例会が開催されました。本年度で姉妹クラブの提携(1984年)以来25年の節目になり、ま

さに兄弟や家族の一員の様な親しみを感ずります。例会終了後は塩山RCの橘田会員の音頭で乾杯し、楽しくより友情を深め合う懇親会が開かれました。

(その3) 海外姉妹クラブ台湾嘉義南区扶輪社の30周年記念慶典に招待を受け、志波会長エレクト以下6名が参列し、親睦を深め友情を暖めてきました。

日時：2009.3.25 場所：水園日本料理餐廳 点鐘：18:30

参加者：志波、永島、白石、原田、大網、須藤



[B] 当クラブの親睦会点描

(その1) 2008.7.15 於：マザー牧場

須藤新入会員歓迎会を兼ね納涼親睦例会を東山画伯の風景をバックに開く。



(その2) 2008.12.25 於：さゞ波館

会員ご夫人を交え忘年家族親睦例会を会員20名達成祝を兼ねて開く。



(その3) 2009.6.25 於：さゞ波館

本年度慰労家族最終夜間例会が開かれた。会長は喜寿のメモリアル旅行をしていたので欠席。誠に申し訳なく、ここに深く陳謝します。



*概観すると本年度は1ヶ月に1回位のペースで何らかの親睦会が開かれたことになり、本年の目標に照らし、和の心を量質共に深め合うことが出来た。

6) ロータリークラブの運営とその実施に当たっては意義のある充実した年間活動計画のプログラムを持つことが重要である。

出席してよかったとの思いが持てる例会作りや、計画性のある親睦会の開催等よく練られた年間プログラムの作成を持つこと。それを月初めの理事会に於いてプログラム委員長のオブザーバー出席を求め、月行事の確認と具体化を図ることにしたのは有効であったと思う。

その結果として、炉辺会合を含めた多様な親睦会の設定、会員卓話の充実を図る例会作り、1年間に結婚・誕生のスピーチ、並びに会員卓話を設定することにより年最低3回は会員の前で発表する機会が持てた。その会員卓話の中では大変耳を傾けるものがあり、会員の自己啓発を誘うものが多かった。ここでそれらを紹介出来ないことが残念である。

7) 富津中央ロータリークラブ創立40周年記念誌

(35年～40年の5年間分) 刊行

クラブ会報担当が中心となり、過去5年間分の記念誌を創立40周年記念事業の1つとして作成刊行した。



以上、今回は月・日順でなく、活動計画とその具体化に沿って2008～2009年度の活動の概要をまとめることにした。振り返れば思い出深きことばかりである。

終わりに会員各位、そして役員の方々の御協力に感謝します。とりわけ、佐藤幹事のサポート、御助言に厚く御礼を申し上げ閉じます。

第44代会長 志波 克

2009～2010年度（平成21～22年度）

世界にも目を向けよう Reaching Out to the World

会長 志波 克 幹事 榎本守男

RI会長 ジョン・ケニー

RI会長テーマ ロータリーの未来はあなたの手の中に

The Future of Rotary Is in Your Hands

地区ガバナー 中村博亘

ガバナー補佐 山田修平



運営方針（第一回例会挨拶より）

私が一番大事にしたいのは「親睦」です。ロータリーは例会に出席し、お互いにふれあい、親睦を深めることから全てが始まります。社会的に優れた人達の集まりですから、ふれあい、親睦を深めることが研鑽になり、職業倫理を高め、社会に奉仕し、国際平和に貢献することが可能になります。従って例会への出席は最も大切な事であります。

現在、いわゆる先進国では世界的大不況で、それぞれの人達が大変苦勞をしておりますが、これは今までの良すぎて現在が通常であるとも言われています。過度期的な調整が過ぎれば、生活を少しダウングレードすることで落ち着くだろう、との見方です。

一方において、デズモンド・ツツ大司教の言う「もし私達が平和を望むなら、私達は先ず貧困に打ち勝つ為に専心しなければならない」、「人々を絶望に陥れるような状況がある限り、私達は(テロとの戦いに)勝つことは出来ない」という世界があります。

私達日本人が生き続けるためには、世界が平和でなくてはなりません。折角ロータリーという世界的な奉仕団体に所属しているのですから、ロータリーを通して世界平和のためにいくらかでも貢献できれば幸いです。R財団、ポリオ等にも応分の協力をお願い致します。

又、昨年度、クラブ細則をRIが推奨する様式に変更しましたので、委員会構成が大幅に変わりました。これによってクラブが主導する計画がやり易くなると期待されますが、いわゆる四大奉仕等の歴史的な理念をどのように具現化するかを初め、戸惑いや混乱が生じると思います。これは皆で知恵を出し合ってその都度問題を解決しながら、クラブの実情に合った組織に作り上げて行きたいと考えます。

今期の富津中央ロータリークラブが皆様の手によって、実りある実績を上げ、未来に向けて発展するロータリーの強固な鎖の一環となることを願っております。

活動概要

7月

長期計画の作成 原案作成後、7/23～8/12 間に数回の理事会を経て完成。

7/2 認証状伝達 会長・幹事就任挨拶 佐久間市長に名誉会員委嘱状送呈 挨拶を頂く

7/9 卓話「スイスを旅して」 高島治雄

7/16 「ガバナー補佐の役割と責務について」 山田修平 ガバナー補佐

7/30 卓話「ちはやぶる」 千葉一利

8月

8/6 卓話 「不変と可変」 三枝一雄

8/20 移動夜間家族親睦例会 マザー牧場

8/27 卓話 「自然との共生」 平川恵敏

9月

9/3 卓話「ドレスデン・プラハを旅して」須藤 隆

9/10 新入会員研修会兼情報研究会「奉仕の変遷と決議23-34」志波 克

9/17 卓話「ラテン文化の魅力」若鍋武良 氏

訓話「ガバナーを迎えるに当たり」山田修平 ガバナー補佐

9/24 3クラブ（富津、富津中央、富津シティ）合同ガバナー訪問 幹事：富津中央

講話「ロータリーの変遷について」中村博亘 第2790地区ガバナー

10月

10/1 「米山奨学金の現況について」佐藤信泰、「ロータリー財団・米山記念奨学会委員会の本年度の目標並びにお願い」高島治雄

10/15 卓話「循環型社会について」高橋裕之

10/22 山田昌雄会員の「陶芸工房」訪問



会長挨拶 今日、マイクロソフトの新しいオペレーション・システム、Windows7が発売され、早速入手しました。これでノートパソコンが軽快になる事とわくわくしています。パソコンアレルギーの方もこれを機会に一台購入して、是非当クラブのホームページに参加して下さい。大勢になれば活気のあるページが出来てクラブ活動も一段と楽しくなると思います。

10/29 会長報告 昨日分区から依頼されてGSEのメンバー、ペギーさんとステファンさんの研修に同伴しました。ペギーさんは私と日本画家高増暁子氏を訪ね、ステファンさんは三井会員とマザー牧場へ行きました。

終わって二人を八宝苑まで送る車中、二人ともそれぞれの研修が大変楽しく有益であったと喜んでいました。

卓話「百人一首における歴史探訪」榎本守男

11月

11/5 卓話「入会后1年4ヶ月を経てロータリーを思う」須藤 隆

11/12 卓話「長寿表彰」刈込碩弥

11/19 卓話「少子高齢化対策について」渡辺 務

11/26 講話「社会奉仕に関する声明について」山田修平ガバナー補佐

12月

12/3 年次総会 議長・大網庄一郎 次年度役員発表 原田雅式会長エレクト

卓話「葉っぱビジネス」渡辺 務

12/10 会長挨拶 一昨日、12月8日は日本の歴史にとって大変重要な日でした。「ニイタカヤマノボレ1208」と聞いて興奮する人が少なくなったと思いますが、アメリカやイギリスに対して戦争を仕掛けた事実、そしてそこに至った経過は忘れてはなりません。

テレビドラマも始まった司馬遼太郎の「坂の上の雲」に、「ロシヤが自分で負けを作ったような日露戦争での日本の勝利を絶対化し、やがて国家と国民が狂いだし太平洋戦争に入った」、とありますが、この戦争突入は国民大衆の声に押されたことが主原因であったようです。

先頃、何人かの信頼できる学者が「国民の目線で政治をやられては困る」と言うようなことを言っていました、それも一理あると思いました。

我々ロータリアンには、常に広く世界に目を開き、日本のあるべき姿を考え、国民の目線を引き上げる努力が求められていると思います。

卓話「いにしえ人の恋」榎本守男、

「遺児を育て田畑守り来し^{ひとよ}一生なり足れりと思ふ足らずとも思ふ一石渡静江」
千葉一利

12/17 「家庭集会C組レポート」高島治雄 クラブフォーラム「上期各委員会活動報告」

12/24 忘年家族例会（午前中ハーフコンペ 12名参加） ブリストルヒル・ゴルフクラブ



俳句 三枝夫妻

極月の夕べ楽しきフラダンス

クリスマスイブや光れるレイかけて

ウクレレの音色よき夜や冬の星

ふみよ



グリーンの窓暮れてゆくクリスマス

ワイン酌^のみイブのダンスに加わりぬ

妻と撮る笑顔の写真クリスマス

かずを

1/7 卓話「私の病院勤務」大須賀三智男

1/14 年頭所感 各会員

1/21 年頭所感 各会員

1/28 新年夜間例会

2月

2/4 卓話「蘭学事始」三井 進

2/18 年頭所感 各会員

2/25 卓話「インド旅行記」須藤 隆

3月

3/4 卓話「インド旅行記」志波 克

3/11 新入会員 若鍋武良氏入会挨拶、卓話「南の島で遊んで暮らす」石渡 鋼

3/18 塩山RCとの合同例会（於：甲州市 奥籐第十分店）姉妹クラブ契約更新



例会場「奥籐」集合



合同例会



勝沼トンネル・ワインカーヴ

3/25 卓話「66才になって」永島 強 増強フォーラム 座長 須藤 隆

4月

4/1 卓話「4月は雑誌月間です」千葉一利

4/15 若鍋武良会員歓迎夜間例会

歓迎の言葉：若鍋会員には富津中央ロータリークラブへのご入会、誠にお目出度う御座います。今年度初の入会者を迎え、クラブとしても大変喜んでいる所でありませす。ロータリークラブは地域に存在する職業を代表する人達の集まりで、親睦を深めつつ互いに研鑽し、自分自身を高め、社会に奉仕をしようという団体です。会員は、見た目にはあまり華やかでなくても、皆優れた特徴を持っています。どうぞ若鍋会員にもご自分の強みを遠慮することなく示して頂き、親睦に奉仕に存分に力を発揮下さるようお願い致します。

4/22 卓話「ブレイン・ダンプについて」原田雅式、「私の趣味について」小野恒靖

5月

5/6 「地区協議会報告」原田雅式 「マザー牧場便り」三井 進

5/13 卓話「妻との出会いと親鸞・ニーチェを思う」榎本守男

5/20 3クラブ合同例会（幹事：富津中央 於：ブリストルヒル・ゴルフクラブ）
卓話「レストランの美味しい話」松岡正浩様

5/27 山田修平ガバナー補佐、北見洋司次年度ガバナー補佐御来訪、御挨拶を頂いた

6月

6/3 米山功労クラブ（3回目）表彰状到着、小久保郵便局長島野利一様御来訪御挨拶

6/10 次年度会長方針発表 原田雅式次年度会長

会長挨拶：—— 13日には小惑星探査機「はやぶさ」が小惑星「いとかわ」の土を持って7年ぶりに満身創痍で帰還します。本体は大気中で燃え尽きますが、その資料はオーストラリアの沙漠に投下され回収されます。みんなで成功を祈りましょう。——

6/17 誕生月卓話 大網庄一郎、佐藤信泰

6/26 慰労家族夜間例会

会長挨拶：皆さん今晩は、今年度最後の例会を無事に迎えることが出来て大変嬉しく思います。

国際大会の方も榎本、須藤両会員共々十分に楽しんで参りました。いずれ詳しく報告しますが、財団や難民関連の講演を聴き、ロータリーが人類のために貢献している様子が理解でき、同時に二万人の聴衆の反応から被援助国の人々の声が聞こえてくるようでもありました。

大会に出席したのは、足かけ2日、計5時間程でしたが、多数の国からの参加者を身近にし、何人かと言葉を交わすと、やはり本で読むのとは違った実の世界が感じられます。又機会がありましたら出来るだけ大勢の皆さんと一緒に出かけたいと思います。

ワールドカップサッカーも日本は予選を通過し、期待の持てる決勝トーナメントに入ります。今年度の富津中央RCはサッカーで言えば予選を通過した位の実績が残せたと自賛します。そして原田年度以降ではサッカーの決勝戦の結果に負けない大きな飛躍を願っています。

次年度からは、掛け替えのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的な生き甲斐を得ることの出来る場所、富津中央ロータリークラブのために、一会員として微力を尽くす覚悟であることをお伝えし、この一年間皆さんから頂いた温かい御協力に対する感謝の言葉と致します。



第45代会長 原田雅式

2010年～2011年(平成22年～23年)

ロータリーを楽しもう

会長 原田雅式 幹事 平川恵敏

RI会長 レイ・クリンギンスミス

RI会長テーマ 地域を育み大陸をつなぐ

Building Communities Bridging Continents

地区ガバナー 織田吉郎

ガバナー補佐 北見洋司



活動方針

ロータリーに入会して1年目で会計、2年目に幹事、4年目に会長と実力もないのに出世だけは1人前と内心まだ早すぎではないかと心配しながらも、この伝統と歴史のある富津中央RCの45代会長を仰せつかりました。しかし不安を抱えながらの出発であります。

2010年～2011年度RI会長テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」私たちは住みやすく働きやすい世界をつくるために世界中の人々の善意を繋いで協力と支援を得ることにかけては、世界でも私たちの右にでる団体はないでしょう。

織田ガバナーのテーマは「スタイルを磨こう」です。スタイルとは一貫した自分らしさ、ロータリーは長い時間をかけ、例会重視、職業奉仕の概念、等ロータリーならではのスタイルを創りあげてきました。今このスタイルに危機がおとずれていると、ロータリーの危機を説いております。次に会長としてのテーマですが、この10年間日本はロータリアンが大幅に減少しております。実に31,000人です。平成に入ってから長期不況、デフレ等に原因があると思われませんが私は少しでも会員増強になればとの思いから原点に帰り「ロータリーを楽しもう」としました。

活動の概要

2010年

- | | |
|-------|---------------------------|
| 7月1日 | 認証状継承、佐久間市長挨拶、会長・幹事挨拶 |
| 7月8日 | 北見ガバナー補佐挨拶 |
| 7月29日 | 納涼夜間例会(新舞娘) |
| 8月5日 | 8月1日刈込碩弥会員、ご逝去(チャーターメンバー) |
| 8月26日 | 卓話、カート・モーリッツ(ALT) |

9月2日

織田ガバナー公式訪問、クラブ協議会



10月18日

第4分区情報研究会

11月6日、7日

地区大会（銚子）11名参加

11月18日

筑波ハイキング、宇宙センター見学

12月9日

会員卓話、市政報告（渡辺会員）

12月16日

外部卓話 高梨正先生「内藤家」

12月26日

家族親睦大忘年会 挨拶は短く楽し年忘れ ふみ代



石松が消えて残りし富士の雪	かずを
冬星へしばしの別れヤマト征け	かずを
レイ掛けて踊る姿や冬灯	ふみ代
面とれば友や師走のバカ踊り	かずを
仮装して歌も息合ひ年惜む	ふみ代

三枝一雄・富美代 夫妻

2011年

1月13日 刈込一弥会員入会

1月13日 外部卓話、松本優一氏、国連JICAボランティアスタッフ

2月3日 年頭所感（全員）

3月11日 東日本大震災、義援金1人1万円宛、募集

3月23日～30日 姉妹都市訪問（カールスバット）若鍋会員

4月7日 会員卓話「見えるものと見えないもの」三枝会員

4月21日 移動例会、石渡会員宅、裏山でのバーベキュー



4月24日 地区協議会

5月25日 市内3クラブ合同例会（ホテル喜楽館）

6月16日 外部卓話（長崎県立美術館館長）米田耕司様

6月23日 クラブフォーラム 一年間を顧みて

6月26日 夜間例会（会長、幹事慰労会）

一年間を顧みて（6/23 クラブフォーラム抜粋）



佐藤信泰 クラブ会報・広報委員長

今年の主な投稿を挙げてみますと、

1. 地域社会絡みの投稿

議会便り（渡辺会員）

マザー牧場便り（三井会員）

地元のスケッチ紹介（佐藤会員）

2. 歴史絡みの投稿

親鸞（榎本会員）

私の歴史調べ（千葉会員）

3. パソコン絡みの投稿

大人の玩具（志波会員）

エンターテインメント（志波会員）

4. 国際情報

国際ロータリー年次大会旅行記（志波、榎本、須藤会員）

南米旅行記 [リオのカーニバル・イグアスの滝]（志波、須藤会員）

姉妹都市訪問記 [カールスバット]（若鍋会員）

上記の様な記事は独創的な会報を作り、貴重な資料となると考えます。

投稿記事は20件位ありました。今後も積極的な会員投稿を期待します。

志波克 ロータリー財団・米山記念奨学会委員長



今年度は財団への寄付、ポリオ撲滅への募金活動、米山奨学会への寄付、いずれも目標を超えることが出来ました。

マルチポールハリスフェロー2名、ポールハリスフェロー3名、及び米山功労者4名が誕生しました。御協力有り難うございました。

終わりに、

今年度は3月11日に1千年に1度という東日本大震災に見舞われた。死者、行方不明者2万人という、想定外の出来事がありました、亡くなった方、行方不明者にはご冥福をお祈りし原発事故で避難されているかたには心からのお見舞いを申し上げます。この大震災に対して台湾の方から250億円もの義援金が届いたということです。嘉義南区RCも高額な義援金を出して頂き感謝致します。それと台湾訪問も中止となり次年度、小野会長にもしわ寄せがいてしまいました。心から申し訳なく思っております。

第46代会長 小野恒靖

2011～2012年度（平成23～24年度）

奉仕と親睦 夢と希望を持って活動しよう

会長 小野恒靖 幹事 須藤 隆

RI会長 カルヤン・バネルジー

RI会長テーマ こころの中を見つめよう博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

地区ガバナー 山田 修平

ガバナー補佐 成松 薫



創立45周年の記念年度に、2回目の会長を仰せつかり、身の引き締まる思いで、お受け致しました。今年度は、当クラブはじめ、各クラブ周年のあたり年でした。

今この一年間を振り返ってみて、大変な一年だったなと、思わずにはられません。幹事さんはじめ、皆さん本当に、ご苦労様でした。

活動方針

奉仕と親睦はロータリーの要諦で、切り離す事は出来ません。

奉仕あつてのロータリー、親睦あつてのロータリーです。

私はこの1年間を、奉仕と親睦に力を注いできました。特に今年度は私のテーマのごとく、奉仕と親睦に、全力投球でした。

RI会長のカルヤン・バネルジーは、まず自分自身を見つめなおそう、と提唱しました。地区、山田修平ガバナーは、「より強力な魅力あるクラブに」を実践してくださいと提案しました。リーダーの真摯な心を汲み、実行していきました。

活動の概要

- | | | |
|----|----|---------------------------------|
| 7月 | 7 | 認証状継承 会長、幹事就任挨拶 七夕例会 |
| | 14 | 佐久間清治 富津市長挨拶 |
| | 20 | 地区大会決起大会3人参加（須藤、榎本、小野各会員） |
| | 28 | 榎本守男会員に地区幹事委嘱状付与。親睦夜間例会（山下厚様） |
| 8月 | 8 | ロータリー財団地区セミナーに会長出席（千葉市） |
| | 18 | 成松薫ガバナー補佐来訪 |
| | 25 | マザー牧場にて納涼例会 |
| 9月 | 8 | 山田修平ガバナー、成松薫ガバナー補佐公式訪問 |
| | 12 | 地区ゴルフ大会5人参加（志波、榎本、大網、大須賀、小野各会員） |
| | 22 | クラブフォーラム 会員増強、退会防止委員長 白石幸久会員主宰 |

2 5 平成23年度富津市総合防災訓練参加。山田昌雄社会奉仕担当部長



2 9 夜間句会例会 三枝先生、三枝ふみ代先生

1 0 月 1 3 4 5 周年記念例会 佐久間清治富津市長、華義南扶輪社2 2 名参加



1 7 情報研修会4名参加 袖ヶ浦市(小野、石渡、山田、刈込各会員)

2 0 米山奨学生 マハルジャン ディネシュさんの卓話(ネパールの話)



1 1 月 5, 6 地区大会 ホテルアカデミアホール

ロータリー財団年次寄付成績優秀クラブで表彰される。

ロータリー米山記念奨学会寄付者4名表彰される。

(三枝一雄、榎本守男、高橋裕之、小野恒靖 各会員)

1 7 地区大会副委員長 前田三郎

地区大会副幹事長 鈴木克己 両氏地区大会御礼訪問

2 4 卓話{我が家雑談}大須賀三智雄会員

1 2 月 1 指名委員会(志波委員長)次々期役員きまる。

次々年度会長 須藤 隆

次々年度幹事 山田昌雄

- 次年度会計 大網庄一郎
- 次年度理事 山田昌雄、刈込一弥、佐藤信泰
- 須藤幹事 ロータリークラブ細則の見直し発表
- 8 卓話 {ブラジル} 若鍋武良
- 1 5 卓話 {苦しい風評被害} 刈込一弥
- 卓話 {ハートフルウォーキングに参加して} 佐藤信泰
- 2 2 恒例 会員家族大忘年会 いちかわ旅館にて



- 1 月 1 2 小倉博人 富津シティクラブ会長
- 山口 稔 富津シティクラブ幹事 両氏 20 周年記念参加要請
- 第 1 回新春囲碁大会
- 優勝 須藤八段、 準優勝 小野、 3 位 千葉、 4 位 若鍋
- 2 月 2 卓話 {宇宙雑談} 志波 克会員
- 9 卓話 {平野スーリーさま タイ国人} タイ紹介
- 2 3 特別養護老人ホーム {矢那梅の香} 見学。山田昌雄会員紹介



- 2 9 富津シティクラブ 20 周年記念例会 9 名参加
- 3 月 1 白井敏夫氏 富津市少年野球連盟会長 訪問
- 3 君津ロータリークラブ 40 周年記念 2 名参加 {小野会長、須藤幹事}
- 8 卓話 {私にとってのロータリー} 須藤 隆幹事
- 会員報告 {難病認定と奉仕活動} 千葉一利会員
- 会員報告 {快気御礼} 榎本守男会員
- 1 5 家庭集会報告 A グループ {榎本守男世話役}

- C グループ {若鍋武良世話役}
- D グループ {原田雅式世話役}
- 2 2 家庭集会報告 B グループ {白石幸久世話役}
- 2 5 姉妹クラブ塩山クラブ40周年記念例会出席。13名参加
会場 甲州市勝沼町 ぶどうの丘イベントホール
- 4 月 5 卓話 {アカデミー賞映画 {英国王のスピーチ} 若鍋武良会員
- 1 0 国際大会結団式及び壮行会 君津市レストラン ディジョン21名
- 1 2 荏原製作所見学
横山庭園観桜会{30周年記念植樹}
- 1 9 卓話 {蒞蓄を傾ける} 榎本守男会員
45周年委員会報告 佐藤信泰委員長
- 5 月 5 国際大会参加者14名バンコクへ出発
千葉ナイト参加
- 6 国際大会出席



- 7 バンコク市内見学
- 8 アユタヤ遺跡見学
- 1 0 成田空港帰国
- 2 4 国際大会参加者慰労会
- 6 月 1 4 創立45周年記念事業として浅間山跡地利用協議会(コスモスを咲かせようプロジェクト)へ支援金を贈呈

自由投稿 ロータリーの思い出 他

退会二度の危機

心の温かさと仲間意識が救う

ロータリーは私の生命



千葉一利

私は平成10年、今から14年前、検査の結果パーキンソン病と宣告された。宣告した女医さんは、“今、良い薬があるから、すぐ寝たきりにはならない。少し早く歳を取ったと思いなさい。”と。この言葉は私には慰めの言葉に聞こえず、1000人に1人という難病になぜ私が——。と大いに悩んだ。

私の高校の同期に、沢山の医者がある。その中の1人、同じクラブに所属するドクター三枝に相談をした。早速千葉リハビリセンターのその方面の専門医に連絡を取り、照会状も書いてくれた。そして“この病気はつい内向的になりがち、積極的に人中に出ること、そして前向きに生活するように…”と助言してくれた。この言葉に勇気づけられ、動けるうちは動こうと、辞めようと思ったロータリーも続けてお世話になることとした。ロータリー会員である友が1度目の危機を救った。また、千葉リハビリセンターの先生が難病の手続を進めてくれたが、国からの特別な援助を受けながら奉仕活動することに疑問を感じお断りした。

そうして過ぎた13年目の昨年、親戚の義兄弟が多系統脳萎縮症という難病にかかった。すぐ難病申請をしたそうだが、我が家でもそのことで私の病気が話題になった。もう数え80歳だし、13年余も認定を受けていなかったのだからこの際申請したらと言うことになった。昨年12月に保健所に書類を提出し、今年の2月にやっと特定症患者(パーキンソン病関連症患者)に認定された。

いざ送られてきた認定カードを手にすると、国から特別な援助を受けながら奉仕活動をするとうなにか割り切れない気持ちがよみがえり、ロータリーを続けるべきか、辞めるべきか、大いに悩んだ。

決断は自分ですることであろうが、その前に色々な人に相談したいと思った。最初に相談すべき人は親代わりの榎本会員だが、体調を崩されていたので、小野会長、須藤幹事に初め話した。その後、理事会、全体会などで意見をお聞きした。“難病認定と奉仕活動には何ら関係がない”、“会員資格に何ら影響はない”、“ロータリーがリハビリになるなら辞めることはない”など、沢山の励ましの言葉を頂き、心温まる拍手に胸がいっぱいになった。この会員の心の優しさ、暖かさ、強い仲間意識が、私のロータリー継続という結論を引き出し、二回目の退会の危機を救った。

ロータリーが奉仕の理想を追い求めるには、その基礎としてこうした人間関係が大切であろう。これは我が富津中央の大きな誇りでもある。

ロータリーは私にとって生きる証であり、生命そのものである。1年でも長くお世話になろうと思っている。

入会の思い出



榎本守男

昭和57年7月17日に31歳で当クラブへ入会しました。ですから早いもので在籍30年になります。高橋会員が平成3年7月18日入会するまで約10年間は最年少会員として大先輩に可愛がっていただきました。

入会のきっかけは、今は亡き松田和男会員と榎本与七郎会員が尋ねてこられて、突然「君はロータリークラブに入る資格があるから入会しなさい。ただし会員の一人でも反対があれば認めることはできない」と言われました。私にはロータリーに関する知識は何もなく、ましてや入会したいと思ったことも一切なくただ唾然としたことを覚えています。妻に「ロータリーって何？」と聞くと、「正装して時々パーティーやってるらしいよ」くらいの認識であった。ただパーティーという言葉に敏感に反応しているのがわかった。

その日のうちに故松田会員からロータリーについての薫陶を受け、趣味の麻雀話で盛り上がり、そのまま卓を囲んで深夜に及びました。当時私は、地元には仕事関係の人以外友人少なかったので、学生時代の仲間が東京から来てくれてチー、ポンとやっていました。だから私はロータリークラブ入会でメンバーに不自由することがなくなるとの不純な動機で入会を決意しました。パーティーと麻雀のエサでいとも簡単に釣られたのです。故松田会員とはそれ以後連日のように夜の例会を開催していました。

志波会員が会長の時の最終例会を見学し、故大森会長の年度から正式入会となりました。若造の私にとっては、地元の知識豊かな大先輩と一挙に知り合い、友達付き合いが出来るようになったことは大きな喜びでした。推薦者の故松田会員が好んでよく使われていた言葉「ロータリーは教わるのではなく体得するものである」。

30年たってもなかなか体得が困難でいまだに入口をウロチョロしているのが現状です。富津中央ロータリークラブの45周年を会員一同でお祝いすると共に、50周年に向けて調和のとれたクラブとなるよう願って活動したいと思っています。

思い出



原田雅式

私は2006年2月23日にRCに入会しましたので今年で6年目となります。ロータリーでは衝撃的な思い出があります。

2006年3月台湾嘉義南区扶輪社の27周年記念式典と姉妹クラブ締結の更改のため訪台したもの、初めての台湾訪問でもあり嘉義南区RCのメンバーとの懇親会は乾杯の嵐で驚きました。中でも新人の私を10年も前からの友人のように暖かく歓迎して頂き感激したことを覚えております。

2006年マッチング・グラントで阿里山へ移動図書館車を贈る事が決定、2007年には、この移動図書館に入れる図書を贈るという目的で阿里山郷長、陳明科氏に日本円で20万円の図書費を贈呈。

その後阿里山から観光のため台湾では有名な日月潭を見学、埔理(ポリ)という田舎町に宿泊することになり、天水連大飯店(ホテル)に到着。ここであのいまわしいアクシデントが起きました。レストランで食事することになったが、日本円もクレジットカードもダメと言われ当クラブのメンバーから台湾ドルを借りて食事しました、内容はおいしかったのですが南投県ポリという所は田舎で日本人観光客などこないのでしょうか、お金があっても払えないという不思議な体験をしました。

2012年5月5日、タイで開催される国際大会へ出席するため15名で訪問、2日目cocaという中華料理店で食事することになりました。支払いをする時、聞いたら約2万4千バーツと言われ(日本円で8万1千円)真っ青に！！バーツがない。止むなく全員から借り入れて支払い。日本円ならいくらでもあるのになあ〜と、海外での難しさ、それに不慣れも重なり大失態。これで海外旅行の会計も今回の不手際でクビになりそうです。

ロータリーに感謝



平川恵敏

昭和57年4月に紹介されるまま、この地に歯科医院を開業致しました。故郷の広島県に似ている内房で良い地域と思い腰を据えましたが、知り合いも殆どいませんでした。家族の協力を得て、診療は忙しい日々でした。

3年程した頃より子供のピアノでお世話になっていた松本会員からロータリー入会への強い勧めを頂きました。ある日、「町沢先生が紹介者でロータリーに入会が許されたので次の例会より出席する様に」と言われて驚いた次第であります。20周年の式典を間近にした年でした。それから25年、四つのテストや職業奉仕にどうロータリーが関わるのかも考えましたが、なんと言っても親睦です。

この地で他業種の優れた良き友人が出来、私の人生を豊にしてくれました。様々な役割をする事によって研鑽と友情が生まれました。25年の間に幹事2回、会長1回の大役も体験出来ました。国際大会を通じて良い思い出も沢山出来ました。海外の子供をお預かりした事もありました。

これからもいつまでも若くロータリーの意義と楽しさを体感すべく皆様と御一緒したいと考えております。

思い出のガバナー補佐時代



石渡 鋼

今から6年ほど前、大網会長年度でしたでしょうか？ 恒例の12月に行われた会長選考会の最後、この役を決めれば食事、お酒も出るという段になって、座長曰く「次年度は当クラブよりガバナー補佐を出すローテーションですので、お決め願います。」との諮問があり、しばしガヤガヤがあつてどこからか「石渡が良かっぺ」の声、当方これは一大事と必死にあれこれ防戦の矢を放つも多勢に無勢、包囲網は狭められ、とうとう最後は「どっち道二年先のことだから軽く受けときなよ」と分かったような分からないような言葉に止めを刺され喉の渇きと相まって、お受してしまったのであります。今思い出しても馳走まえにしての己の薄弱な意志にあきれるばかり。

そうそう、そんな先を急ぐ場の中でC会員がポツリ「いま私は難病と闘っているが、君がG補佐を全うするまでは退会しないよ」と。本当はこの一言がぐうたらな我が身を奮い立たせ、観念するところとなりお受けした次第です。今でも忘れることの出来ない一言であります。

そんな清濁の声援に送られての第一回G補佐会議が崎山PG主催のもと、平成19年12月5日千葉駅東天紅で開かれました。始めて会う顔ぶれに自分のもとより皆緊張気味でしたので「皆同じなんだ」と多少安心、その後何回か会合を持つうちに地区役員を含め、「何とかこの一年を皆で無事乗り切ろう」そんな連帯感が生まれてきたように思いました。

私の心中は「もとより浅学非才な我身であれば、果たしてガバナーの意向を分区各クラブの会長幹事さん達に理解してもらえるよう上手く伝えられるかどうか」「分区のクラブ会長幹事さんの中に強面の論客がいたらどう対抗しよう」と心細い限りでしたが、そんな思いを知ってか知らずか皆さんは終始協力的にご支援頂きました。過ぎてみれば実際の経験はないのですが、G補佐主催の会長幹事会是一种の「戦友会」の趣も斯くあらんと思わせる空気があり、第四分区の会長幹事の皆さん、クラブに帰れば諸々の御苦労が有つたろうその姿に、如何ばかりの援護が出来たのか今もって気になるのであります。また後になって木更津東RCの鈴木正毅幹事、木更津RCの黒田雅俊会長の急な訃報に接するは将に桜花散るが如く、戦友を失った小隊長の部下を想う心境大でありました。

補佐としての行事出席は1年半で8回のG補佐会議・分区内クラブ訪問・同会長幹事会・記念行事・RI会長主催による会員増強全日本大会等を含め62回を数えましたが、特に思い出深い行事は、当富津中央RCの総力を挙げてのご支援頂きましたアカデミアホールでのIMであります。市議初当選の渡辺分区幹事に飲料の持ち込みまでさせてしまったり、高島会長の手配での会員夫人のIM参加は始めてで、基調講演の白鳥PGをして「Aさん(PG)が綺麗どころを連れてきたのか」と言わしむるほどに花を添えて、そして渡辺ヒロ子さん(後日勝浦RC入会)のアコーディオン演奏「パリの空の下」「ラ・クンパルシータ」は今でも聴く度にガバナー補佐時代を懐かしく思い出させてくれます。

顧みれば冷や汗たらたら1年半でありましたが、皆さんのおかげでどうにか乗り切れたことは、何の変哲もない我人生にとって最高の名誉あり、砂中にダイヤを拾った以上の喜びであります。愚生でも果たせたガバナー補佐、後に続く方に少なからず、勇気とやる気を残すことが出来たなら、本懐これに勝るものなしであります。

思い出



小野恒靖

1994年7月7日と2011年7月7日は、くしくも、初例会日で七夕例会でした。

1994年の会員数は44名でした。以下は当日3人の先生に頂いた句です。

夏萩の吹かれる枝の瑞々し かずお 新しき光生まれる星今宵 ふみ代
銀河より巨星クラブに下り来る 伊藤 糸遊

早いもので、あれから17年が経ちました。2回目の会長という事でお受けしましたが私にはトメモ荷が重く、1年間勤まるか不安でした。

今年度は、周年記念の当たり年で、様々な催しものがありました。当クラブの45周年、富津シテイクラブ20周年、塩山クラブの40周年、華義南クラブ20名が当クラブを訪問し合同記念例会、地区大会子ホストクラブ、君津クラブ40周年、バンコック国際大会15名参加、会長幹事会議等多くの会議に出席してきました。須藤幹事さんも大変だったと察いたします。ご苦労さまでした。

私事としては、次女の結婚式があり、クラブより祝電を頂きました。

昭和61年3月に入会して在籍26年ですが、いまだに迷うときがあります。感受性に乏しいせいか、鈍感なのか、不器用なのか、このままロータリーという大海に押されたままでいいのか、その中で何かを見つけられたら、それはそれでいいのかも知れない。少し頭を休ませると、いいアイデアが見つかるかも。

ロータリーは余り深く考えないほうが、旨いくのかも知れない。入会浅い人が、この拙文を読んで、ああ、そうなのか、深く考えないほうが良いのか、と思ってくれたら幸いです。ロータリーは人作りの寛容道場です。

来年満、70歳になりますが、近頃すっかり酒量が減りました。歳といわれればそうですが、かなりの抵抗があります。2年前に眼底出血を患ってから、大分弱気になりました。健康の有難さを痛切に感じたところです。今は左右とも、1.2あります。

卓球は相変わらず、元気に学生の指導をしており、大会にも出場しています。患った頃は、よく空振りをしましたが、最近では空振りもなく、右に左に、よく動けるようになりました。健康に感謝です。

ロータリー活動もまだまだ沢山、遣り残していますが、これからの人の為に、少しでもお役に立てる足跡を残せたらと、願う今日この頃です。

実のあるロータリー活動を実行し、日々努力してこそ、真のロータリアンの姿だと思います。

今年度を振り返り、会員の皆さんには、大変お世話になり、衷心より感謝申し上げます。これからも、御指導のほど、宜しく願い申し上げます。

ロータリーの友委員の思い出



三枝一雄

電車を降りたら運悪く君津ロータリークラブの秋元秀夫先輩と目が合ってしまった。忙しいの何のと言ってもこの人に捕まったらもう逃げられません。旧制中学では一年違くと敬礼しないとぶん殴られる立場でした。

というわけで秋元ガバナー（00-01年度）の配下として「ロータリーの友」地区委員を拝命しました。月に一度、港区芝公園の「友の事務所」へ行き、編集会議をやりました。さすがに、全国各地からの代表だけあって、識見が高く広報や編集にも詳しい人がいて驚きました。例えば1月号の表紙の写真「初日の出」が「日の入り」に見えるとかでやかましくチェックする人がいたりするのです。

ノルマとして地域の行事を紹介することがあり、私は鹿野山神野寺で毎年7月20日に行われる歯塚夏行俳句会の事を書きました。その他いくつかあったように思いますが思い出せません。「ロータリーの友」のすごいところは誤植がないことです。仮名づかいの間違ひもありません。これは極めて優秀な事務局がいるからでしょう。私の原稿の「送りがな」もチェックして訂正してきたので、抗議を申し込んだら返り討ちにあってしまいました。私とて学生時代から俳句誌の編集にたずさわり、5・7・5しかない俳句の原稿校正等長年苦勞した実績があるのに、それを上回るとはアップレな力量ですっかり兜を脱いだ次第です。

地区委員を経験して、「友」は内容的にも大変レベルの高い雑誌であることがわかりました。一例をあげれば今も「俳壇」ではホトトギス主宰稲畑汀子先生が選者になっていますが、専門誌以外でこんな立派な俳人が選句をするところは「友」と「朝日新聞」（朝日俳壇）以外にはないと思います。色々な気づきを戴き充実した1年間でした。今では秋元パストガバナーに感謝しています。

交換学生 京都、奈良見学記（1980年7月）



志波 克

富津中央の前身、大佐和ロータリークラブの創立会員に加えて頂いてから、45年。当時の最年少会員も最年長の80歳になりました。多くの教えを頂いた初代会長・笠原文雄師、大腸がんを発見して下さいた町沢清太郎先生、を始め多くの方々のお世話になりながら過ごして来ました。

クラブ活動には多くの思い出があり、その一つは交換学生です。7年目に幹事を務めた時、松田和雄会長エレクトと囚ってオーストラリアからアンナを受け入れたのを皮切りに、以後何十年か、長短期合わせて50名前後の学生を交換しました。

当時の会報に、結構“ハイ”な状態の旅行記があったので、少し長いですが転載します。

朝5時、早足で長い外廊下を走り、雨戸を次々と開けてゆく音。あとを追うように響きわたる鐘の音。何百年の歳月の為うまく閉じなくなった襖の向うでも、なにやらもぞもぞと音が出始める。京都知積院大書院での目覚めです。

身支度を整えて、数年前に建立されたという新金堂でのお勤めに列席させて頂く。先日内野前会長のお宅で、お茶とお花の講習を受けた時の経験で、長時間正座を続けるとどうなるかよく知っている2人は、膝をくずしたり、足を伸ばしたりしながらも、神妙な顔付で数10人の僧の発するお経ハーモニーに時を忘れていた様子でした。

終って本堂にて大護摩だき、そして案内僧に導かれて中国の廬山を形どったという庭園、国宝の大障壁画(長谷川等伯画)等を見学した後に、知積院会館にて生卵と一汁一菜の朝食をおいしく頂く。朝食をすましてロビーにいくと、加藤義昭僧正と御後輩の佐竹師が出迎えてくださる。お二人には昨日京都に着いてから我々の身柄を引き取って頂き、一切合財面倒を見て貰っていたのです。

昨日は大貫駅発9時48分の急行で、久野一家全員に送られて来たリズ、ベッキーの2人を引き継ぎ、この二泊三日の京都奈良見学に出発したのですが、東京駅に着いてみると、京都米原間の豪雨の為新幹線のダイヤは大混乱。こゝは腹を据えてかゝらねばと、まずは地下の食堂街へ。そこでゆっくりと昼食をとりレストルームなど使った後、「ひかり」のつもりで乗った「こだま」で無事東京駅を発車。

途中東海道の景色を楽しみつつ、西洋すごろく、トランプなどで遊び、はてはモーゼの生涯のハイライトなど話されて、用意した週刊誌など読む間もなく京都に到着致し、途中新幹線の中から3百円払ってかけた電話が、番号違いの為加藤師と連絡が取れず、ようやく時刻5時過ぎに知積院会

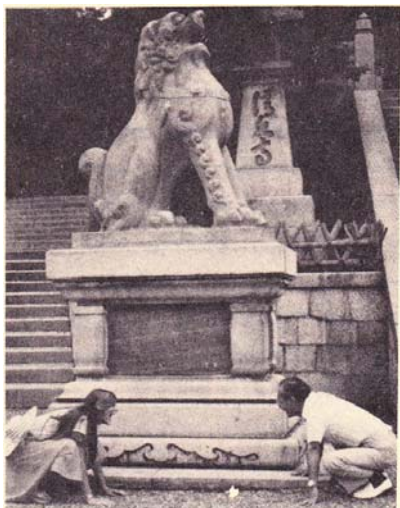
館にて、仏に巡り会った次第でした。

以後はまことに快調にて、加藤佐竹両師の御案内にて、舞子あがりの女将の経営する料亭にて、すきやきを2人前ずつ、超特級かと思われる日本酒を頂戴しつつ平らげさせて頂き、お土産までつけて下さるお心くばりに一同大満足。さてそれからは祇園花見小路のギオンコーナーへ。そこでは茶道、琴、華道、雅楽、狂言、京舞、文楽と京文化のエッセンスを觀賞させて頂き、特に茶道の時はモデル客を依頼されたリズ、ベッキーの2人は、内野宗匠の特訓を生かし、見事なる作法にて役をこなし、万場の注目を集めました。次に加藤師御幼少の頃よりお知合いのスナックに繰込み、京都情緒豊かな時を過した後、御帰寺となり、京都の第一夜が更けていったわけでありませう。

第2日目は、両師に京都駅迄送って頂き近鉄特急にて奈良へ。奈良駅にて、打合せ通りベッキーのアメリカでの友人、乾君と落合い同君の案内で興福寺、東大寺等を見学、又猿沢の池のほとりで写真を取ったりした後、西大寺駅より同君の家まで行き一休み。夕刻4人連れだって京都タワーホテルに帰りつきました。

夕食は両嬢の希望により中華料理に決め、京都グランドホテルの白鳳に赴き、アルコールは一本だけでしたがたっぷり時間をかけて、十分に料理の味を楽しみました。食後ホテル内のスパニッシュバーでカクテルなど味わい、お目当てのディスコへ。帰りがたらない3人をようやく連れ戻し、来年京大を受験するという乾君を小生のシングルベッド足元の床に寝かし、第2日を無事終了したのは、午前1時でありました。

第3日目は、加藤師の依頼を受けたスナックバーのマスター安川氏が、自家用車にてホテル迄出迎えて下さり、京都見物に出発。三十三間堂では、千体仏、風神、雷神に感謝し、清水寺にて



は、頭脳明断、美人になれと滝の水を柄杓に何杯も飲み、折しも小雨にけむる金閣寺の美しさにしばし時を忘れるなど、異国の2人もすっかり古都の魅力のとりこになった様子でした。

昼食は嵐山の日本料理店のはなれで、湯豆腐を中心にしたメニューでおいしく頂き、食後は大信田礼子さんの喫茶店にてコーヒーを飲み、記念撮影などして再びホテル迄送って頂きました。新幹線の発車時間迄は、ぐっと現実にもどって生き生きとデパート廻り。列車は定刻発車定刻到着、東京駅で乗換余裕時間50分のうち35分間をショッピング。久野家へのお土産などを買いこみようやく「さざ波号」にお乗込み。

この3日間、英語という靴を通して足の裏を搔くようなもどかしさはありませんでしたが、2人共それぞれ個性をはっきり見せながら素直に行動し、語ってくれましたので、私にとりまして大変楽しく、勉強になる事の多い日々でありました。インサイドレポートにつきましては、後日機会がありましたら御報告させて頂く事にしまして、今回の旅日記はこの辺で失礼させて頂きます。

最後になりましたが、京都の全行程をお世話下さった加藤義昭会員、切符、旅館等の手配をして下さった平野勝利会員には特に感謝申し上げます。

ロータリーに入会しての思い出



須藤 隆

ロータリーに入会して四年になりますが、今までのロータリー行事でのお思い出を一つ挙げれば2年前のモンリオール世界大会への参加です。

当時の志波会長、榎本幹事と私の3人で成田を出発して途中ニューヨークに2泊してから、モンリオールで開催された世界大会に参加しました。会場は大変広く、現地で山田ガバナー補佐と待ち合わせをしていたのですが、会場内でお互い電話で居場所を確認しあってもなかなか会うことができず大変苦労しました。

私は、当時ロータリーに入会して2年目であり、ロータリーに十分に精通していな状態での参加でしたが、世界中から集まるロータリアンの雰囲気来接しただけで、ロータリーの存在意義の大きさを感じたものです。特に新興国と言われる国々のロータリアンの元気で明るく、気さくな振る舞いに感心させられました。日本人の静かな雰囲気とは違い、バスの中でもお互い声を掛け合い、言語の違いも気にせず気軽に話しかけてくる快活ぶりに圧倒される思いでした。

友愛の広場ではご婦人のロータリアンとテーブルを同じくし、お互い写真を撮ったり、お互いの国の情勢を話し合ったりして、以前からの知り合いであるかのような振る舞いにも、世界のロータリアンは同じ仲間であるとの意識を感じさせられました。

2日目には数万人を収容できる日本武道館のような大会場でR I 会長に紹介されたヨルダン王妃の講演を聞きました。講演の随所で拍手とスタンディングオベーション（立ち上がったの熱烈な喝采）が鳴りやまず、大変な熱気を感じたものでした。

世界大会の体験と共に3人でのニューヨークとモンリオールの旅は大変楽しく印象深いものでした。ニューヨークの市街もモンリオールの街もよく歩きました。志波さんも榎本さんも、タフで、健啖家で適当なレストランを探すのに必死で歩き回った記憶が蘇ります。4泊6日の短い旅でしたが二人の素晴らしいパートナーにも恵まれ、私にとっては最も思い出に残る旅の一つとなりました。

「四つのテスト」その由来と解釈



若鍋武良

2011-12年度第2790地区の第4分区インターシティミーティングにおいて「四つのテスト」について発表する機会を得ました。「四つのテスト」は、職業人としてのロータリアンの心構えや倫理基準を簡潔かつ的確にまとめたものであるといわれています。

「四つのテスト」について、東京にある「ロータリー文庫」での参考文献や資料をもとにまとめてみました。[参考資料：「我が自叙伝」(ハーバート・J・テラー著 菅野多利雄訳)、「四つのテスト その由来をひもとく」(ロータリーの友)、「ハーバート・J・テラーの『わが自叙伝』を読んで」(RI第2720地区)、「小話フォアウェイ・テスト」(大阪ロータリークラブ)]

(1) 「四つのテスト」の発案者ハーバート・J・テラーとその時代背景

発案者ハーバート・J・テラーは1940年にシカゴ・ロータリークラブの会長を、1954～55年には国際ロータリー会長を勤めた方です。その経歴については「我が自叙伝」及び「ロータリーの友」に詳しく掲載されています。「四つのテスト」を発案したハーバート・J・テラーはアメリカの実業家でシカゴのロータリアンで、有名な食品会社の次期社長候補であったが、1932年に、破産寸前状態にあった調理器具メーカーの再建を依頼された時に、4項目からなる簡明な倫理指針を考案し、危機にひんした同社を救った。この時の指針は、「四つのテスト」として広く知れ渡ることになり、1943年RI理事会は「四つのテスト」を職業奉仕プログラムの構成要素として採択、今日では四大奉仕部門のすべてにおける不可欠要素として認識されています。

(2) 「四つのテスト」の解釈

「四つのテスト」は、①四つの簡単な質問から成る総ての人間関係の尺度であり、②人に要求するものではなく自分自身の反省の具とするものとしてとらえられています。FOUR-WAY、TESTはともに単数形であり、四つのバラバラなテストではなく「四つの項目で一組のテスト」であり、この「四つのテスト」は、100か国以上の言語に翻訳されている、と言われます。

ハーバート・J・テラーはロータリーの定義について「ロータリーとは、友情を育み人と社会を作り、世界各国の間に善意と友情を芽生えさせる団体である」「ロータリーの精神・信条は常に変わることなく超私の奉仕(Service Above Self)につきる。つまり人作り、人格者を育てること」(「我が自叙伝」第八章 p109～111)と、述べています。

会 員 紹 介

2012（平成24）年6月



千葉一利

生年月日 昭和7年7月25日
 入会年月日 平成5年5月1日
 職業分類 郷土史研究
 摘要 2000~01年度会長
 夫人 千葉典子

わが家の風景

現在、娘家族は私達のすぐ近くに住んでいる。私達親のことを考えてのことらしく、自分の娘ながら口には出さないが感謝している。でも、なるべく世話にならない様にしようと思う。

それには、健康であること。それは1年でも長くロータリー活動が出来ることにもつながるからである。妻も食事をはじめとして大変健康には気を遣っている。私が狭心症、パーキンソン病など大きな病気を抱えているからだろうか。私も自分なりの健康法を考え実行している。

孫の長女は二歳。親が共稼ぎのため日中わが家に来ている。小学校四年の長男も学校から直接わが家に帰る。更に娘家族とは何かにつけて食事を共にしているので別棟に住んでいるが同居同様の家族関係である。

この我が家族、私が病気でロータリーを続けるかどうか悩んでいた時、みんな口をそろえて“やれるまでやってみたら”と励ましてくれたり、機器に弱い私の会報作りに進んで手伝ってくれるなど、私のロータリー参加に大変な理解を示してくれている。

これらをバックにこれから外孫二人、合わせて四人の孫の成長と、明るく仲間意識の強いこの富津中央ロータリークラブへの参加を楽しみに、残り少ない時間を大切に生活して行きたいと思う。



榎本守男

生年月日 昭和25年12月3日
 入会年月日 昭和57年7月17日
 職業分類 貨物車運送
 摘要 1992~93年度会長
 30周年記念実行委員長
 夫人 榎本純子

嘗ては賑やかであった我が家も今では寂しいもので女房と二人暮らしです。

長女の美紀は京都、長男の聡文は名古屋、次女の小百里は東京と離ればなれで暮らしています。みんな旅行が好きなので年末年始の休み、ゴールデンウィーク、お盆の休暇を利用して集まります。

この時ばかりは孫の詩乃と朔太郎も含めて総勢で九人の大所帯になります。それぞれが小さい時の話題で花が咲きます。

でもなんといっても最近の主役は二人の孫です。目に入れても痛くない気持ちが理解できるようになりました。ダメだと判っていても、嫌われないように欲しがるものは何でも与えてしまいます。躰からほど遠いこの頃です。

今は、己の欲を少なくし、献身的な妻に感謝しつつ、子供たちの幸せを願いながら、孫の成長を見守ることがささやかな望みです。

写真：タイのバンコクにて



原田雅式

生年月日 昭和22年2月15日
入会年月日 平成18年2月23日
職業分類 社会福祉介護
摘要 2010~01年度会長
夫人 原田和子

富津中央RC入会后、夜間例会や家族親睦例会、海外旅行等を通じて妻（和子）も出席するようになりました。特に私が会長を務めた2010年12月の家族忘年会（榎本親睦委員長）は私が風邪をひき高熱でダウンのため妻が1人参加となりましたが、後日聞いたところ大変盛り上がったそうです。

昨年は妻が体調を崩したため今年のタイ国際大会への参加はできず、私が1人で参加しました。最近妻の体調もよくなってきましたので又夫婦で参加をしたいと思っております。

家族全員での写真というのは意外とないものでこれは甥っ子の結婚式での写真です。

私たち夫婦、長男家族4人、次男です。



平川恵敏

生年月日 昭和24年8月24日
入会年月日 昭和61年6月1日
職業分類 歯科医
摘要 1998~99年度会長
夫人 平川裕子

家族と旅

私は大学時代ワンダーフォーゲル部に入り、学生時代の6年間日本中の主な山を10~20kgの荷物を背負い、休みを利用してはよく歩き回りました。妻は同じ部活で知り合い、同じチームでその後の人生を伴って歩く事になりました。

その後縁あってこの富津市で歯科医院を開業致しました。子供にも恵まれ、男の子二人なので家族で尾瀬を歩いたり、帰省の時に広島や群馬を旅したりしました。又、子供が大学に入る時に思い切って旅慣れた志波家の方々とアメリカの西海岸に行きました。

その後、長男は歯学部に入りバックパッカーでほうぼうを歩くようになり、ヨーロッパやアメリカにも自主的に行くようになりました。

次男は、演劇に興味を持って舞台に立ったり脚本を書いたりしています。私達が旅に行く時はついて来てくれるようになり、90才になる私の母が住んでいる長崎や妻の実家の父母に会いに行く時一緒に来てくれます。

これからも子供達と一緒に家族そろって旅したいと思っております。



石渡 鋼

生年月日 昭和19年2月10日
入会年月日 昭和51年10月15日
職業分類 建設請負
摘 要 1991~92年度会長
2008~09年度ガバナー補佐
夫 人 石渡栄子

15年前放射能汚染に警鐘を鳴らした我クラブ会員のこと

この5年間に起きた日本社会最大の出来ごとは、なんといっても11年3月11日午後2時46分に発生した「東日本大地震」に始まる、大津波、そして東電福島第1原子力発電所の放射能事故でしょう。あの地震直後の悲惨な天変地異、大津波・放射能汚染へと繋がろうとは。誰が予測したのでしょうか。

震災前年の宮城白石川にてそれが居られたのです。元当クラブ会員に。その人はあの故刈込碩弥会員です。今より15年前、奇しくも創立30周年記念誌に書かれております。加藤尚武著「環境倫理学のすすめ」の中から「ごみの最たるものは核廃棄物で、中には半減期2億年で、毒性が半分になる・・・」を引用、このとき既に核燃料のゴミ問題に警鐘を鳴らされていたのです。

改めて偉大なる先輩の傾国の予言に驚嘆の次第、さらに追記には「ロータリー誌」から「人類が地球を必要としても、地球は人類を必要としない」とまで書かれており、実際北米まで流れ着き始めた150万トン（5月30日付朝日新聞）に及ぶ被災ゴミのことを見聞きすれば、我がクラブ創立45周年にあたり、今は亡き先師の見識と洞察力に改めて敬意を表する次第です。



刈込一弥

生年月日 昭和54年11月27日
入会年月日 平成23年1月2日
職業分類 旅館

富津中央ロータリークラブに入会して一年余、創立四十五周年の節目に立ち会うことが出来て光栄です。

入会当初は戸惑うことも多々ありましたが、先輩会員の方々の御指導のお陰で、何とか今日まで続けることが出来ました。

ロータリーに対する理解はまだ不十分ですが、その精神に則り活動していきたいと考えています。

若輩者ですが、今後も努力を惜しまず頑張る所存です。



三井 進

生年月日 昭和26年1月10日
 入会年月日 平成17年7月7日
 職業分類 観光事業
 夫 人 三井順子

富津中央ロータリークラブに入会させていただいて、早いもので7年目に入りました。

ロータリーの理念は漠然と理解したつもりでいても、最初のうちは、仕組みもよくわからず、ただ皆さんについていっただけでした。例会への出席率も良くなり、富津中央の皆さんには大変迷惑をかけています。そんなメンバーである私にも温かい声をかけていただき、退会勧告も受けず、続けさしていただいています。感謝、感謝です。

富津での単身生活がちょうど、ロータリー生活と同じになります。例会への出席は家に帰ったような気持ちにしてくれて、それが単身が続いている秘訣なのかもしれません。

勤務場所はマザー牧場です。多くの動物と花と緑に囲まれ、人々に優しさと、和らぎを提供できているかと思えます。

出来の悪い会員ですが、富津中央の皆さん、これからもよろしくお付き合いください。



小野恒靖

生年月日 昭和18年10月19日
 入会年月日 昭和61年3月1日
 職業分類 物療科医
 摘 要 1994~95 年度会長
 2011~12 年度会長
 35 周年記念実行委員長
 夫 人 小野玲子

エピソード

3月次女が結婚し、5人いた家族は3人になりました。旅行好きの家族で、連休はもちろん、気が向くと何処へでも億劫がらずいく。平均して年に5回はいく。国内、国外は糸目を付けない。年末とお盆時期は国外で、3、5、10月は国内です。皆さんが申すには、動けるうちに行きなさいっていう事です。

そんな訳で、日帰り旅行を含め、しょっちゅう家族旅行をしている。例えば、去年でいうと 正月はケアンズ、5月は桂林、陽朔（中国）、7月は伊香保温泉一泊、8月は佐渡島周遊3日、11月は岡山1泊、12月30日から香港マカオ、3月は次女と姪子の結婚式があり、旅行はありませんでした。5月はバンコクと東京スカイツリー、8月は九寨溝、黄龍（中国一の景勝地）の予約が入っています。

家族旅行がいつ迄も続く事を願っています。健康が宝です。

写真は中国、桂林でのスナップです。

中国人ガイドに人気観光地ベストスリーを聞きました。1位 九寨溝、黄龍 2位 桂林、陽朔 3位 海南島 でした。



大網庄一郎

生年月日 昭和14年6月17日
入会年月日 平成16年7月1日
職業分類 社会福祉協議会
摘 要 2007~08年度会長
夫 人 大網立子

家族と共に明るく奉仕

私のロータリークラブ入会は、8年前区長を2期4年勤め上げほっとしていたところチャーターメンバーの志波会員から「これからどうしますか、このまま引き籠もったら心身の為に良くないよ」とアドバイスがあり、迷うことなく入会させて貰いました。そして、入会3年目で幹事、4年目で会長と思ってもみなかった早めの大役でした。

この年度は対外的には、嘉義南RCと阿里山郷公所への図書購入費贈呈訪問、さらに台南西RCへの友好訪問、そして嘉義南RC家族を含め35名参加によるマザー牧場での合同例会等大きな行事が続きました。

この頃より、対外的訪問者の歓迎及びクラブ内の懇親会に会員夫人のフラダンス等の余興が加わり雰囲気が変わってきた様な気がします。

これからも、当クラブが明るく楽しいクラブである様我が家も家族ぐるみで努力していきたいと思ひます。



佐藤信泰

生年月日 昭和12年6月25日
入会年月日 平成7年7月27日
職業分類 ガラス工芸
摘 要 2002~03年度会長
45周年記念委員長
夫 人 佐藤幸子

ロータリーへの思い

ロータリー歴17年。この間、様々なことを教わってきた。取り分け「四つのテスト」はロータリアンの基本であり職業奉仕にふさわしい職業倫理訓であるがなかなか理想通りに行かないのが世の中の常で、反省ばかりが浮彫にされてくる。私がこれまで歩んできた物造りの世界に「四つのテスト」を当てはめてみるとこんな事になるのだろうか。

- 1) 本物志向か偽物か？
- 2) 一般大衆に受け入れられるか？
- 3) 魅力的で親しみが持てるか？
- 4) 用途性に優れ生活向上に役立つか？

又、「四つのテスト」は人生訓でもあり日常の生活訓でもある。

富津の満たされた自然環境の中に、こんな意識が定着すれば素晴らしい地域社会を創出出来るものと考えている。



三枝一雄

生年月日 昭和7年10月12日
 入会年月日 昭和51年7月1日
 職業分類 病院
 摘要 1986~87年度会長
 夫人 三枝富美代

自己紹介

三枝一雄。現在、三枝病院と老人保健施設の理事長・施設長を兼務して一応名前だけは現役です。

今年は満80歳、傘寿を迎えるので、引退準備をしています。趣味は俳句と卓球。俳句は妻ふみ代と何とか続けていますが、さすがに卓球はもう駄目です。オリンピックで日本のメダル獲得と、当クラブ小野選手の全国レベルの活躍を願っています。

倅、奈芳紀は病院長を継いで3年目、嫁の倫子と共に、老化した親父を当てにせず自立してがんばっています。孫の美湖は一人娘で小学校4年生となりました。今どきの子は勉強や習い事で忙しいようですが、たまには俳句会に連れ出して、だましまし俳句を作らせたりします。

今、先祖の書いた「三枝俊徳日記」を人に頼んで解説してもらっています。出来たら整理・再編して解説を加えて出版したいと思い、準備中です。



志波 克

生年月日 昭和6年11月30日
 入会年月日 昭和41年10月13日
 職業分類 自動車教習
 摘要 1981~82年度会長
 2009~10年度会長
 2000~01年度分区代理
 25,40周年記念実行委員長
 夫人 志波甫子

長女直子が生まれてから15年ほどして長男生朗が誕生した。46歳の時だった。その生朗にこの春双子の男の子が出来た。計画性のない人生行路だったが、何とか形が整い、天に感謝している。

5年前には3人いたチャーターメンバーがいつの間にか私1人になってしまった。しかも最年長だ。創立時には最年少で、長い間“若手“だったが今は“長老”として労わられる。ゴルフでも時々負けて頂けるのは有り難いことである。

教習所の社長職もメンバーの榎本さんに継いで貰ったので、会報作りに力が入り、色々使った写真修正ソフトはフォトショップCS5になり、カメラはニコンの一眼レフにスピードライトまで付けた。レイアウトは佐藤さんの御指導で無能力さが隠されたようでもある。

ロータリーが私の人生の大きな支えになっていることを実感する今日この頃、今後も良い仲間に使われつつ、少しでも世の為になれる様務められたら嬉しい。勿論、妻や家族は大切にします。



白石幸久

生年月日 昭和22年5月27日
 入会年月日 平成8年8月22日
 職業分類 会計士
 摘要 2005~06年度会長
 夫人 白石登美子

富津中央ロータリークラブに入会して16年経過致しました。家族は妻と父(92歳)、母(89歳)、子供二人、孫(5歳・3歳)二人です。長男が転勤したので、孫に会うため秩父市に毎月行きます。

職業は会計事務所を経営して、従業員5人で細々としています。また元々農家であり稲作を1.8ha営農しています。

ロータリーの例会に出席することが楽しみの一つであり刺激でもあります。R I田中会長のお話の中で「事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外無いという結論に達したのです。事業が成功すれば、自分も幸せになれる。しかし、それは事業が成功しているからではなく、人を幸せにしてあげることが出来たという認識があるからです」と言われました。

職業を通じて地域社会に奉仕していきたいと考えております。



須藤 隆

生年月日 昭和18年11月9日
 入会年月日 平成20年7月17日
 職業分類 機械設計
 夫人 須藤弥生

4年前に会社をリタイアしてからロータリーへのお誘いを受け、地域コミュニティとの交流ができることを楽しみにロータリーに入会しました。たまたま妻も同じ年に定年退職したので、二人ともいわゆる第二の人生が始まりました。妻は生涯大学に入学し、週一度の授業を楽しみ、私はロータリー大学(?)に入会して、週一度の例会を最優先にして会員との交流を楽しんでおります。

子供たちも独立して家を離れたので今迄お互いお父さん、お母さんと呼び合っていたのを止め、それぞれ名前を呼び合うようにしました。食事以外はお互い干渉せず、それぞれの時間は自主独立を尊重し合っております。

二人の趣味は囲いあいで、私は囲碁、妻は園芸です。囲碁には実益はありませんが、芸の高みを求めて取り憑かれるような面白さを享受できます。家庭菜園には収穫とその味覚を楽しむ魅力があります。こちらは妻の領域とはいえ、鋤を扱う力仕事は見るに見かねて手を出します。それで収穫物を味わうときには自分も貢献したと主張しています。



高島治雄

生年月日 昭和7年5月6日
 入会年月日 平成5年5月1日
 職業分類 教育評論
 摘要 1996~97年度会長
 2008~09年度会長
 夫人 高島貴美子

私とロータリークラブ

当富津中央ロータリークラブに入会して19年目になる。私の胃がん手術をしてくれた命の恩人同期の三枝一雄会員の推薦を頂いて、平成5年5月に入会した。それが現在当クラブでは2番目の年長会員になってしまった。しかし不勉強な私は、未だにロータリーの理念や綱領など諸規則はよく知らない落第ロータリアンである。でも物事の判断や考え方、更には何か行動する時もふと四つのテストなどが頭に浮かぶことがある。この19年の歳月が私を少しロータリーの発想を持つ人間に育ててくれているのかも知れないと思う。

でも私のロータリークラブへの魅力はその理念や知識を深めることではない。例会に出席し、クラブの諸行事に参加し、楽しく親睦を深める会を共にすることで、それぞれの会員の素晴らしい個性や人間性に触れ、更には優れた能力に触発されていつも自己啓発の刺激を受け自己充実感を味わうことが出来ることが私のロータリークラブの魅力である。そんな魅力に惹かれて元気な間はロータリークラブの活動に楽しく参加し、ロータリアンとの絆を深め合って行きたいものである。



高橋裕之

生年月日 昭和35年10月30日
 入会年月日 平成3年7月18日
 職業分類 水道工事
 摘要 2003~04年度会長
 2012~13年度会長
 夫人 高橋良重

家族紹介

創立25周年記念式典のある年に入会した私も、早いもので20年のロータリー歴が経過しました。そして、2012-2013年度は第47代会長を務めさせていただきます。

直近5年間を振り返ると、41代永島会長の時に高専1年の息子が社会人、中学3年の長女が専門学校3年、中学1年の次女が大学1年、幼稚園の末の息子が小学6年になり、結婚25周年を迎えました。子供の成長をあらためて振り返ると、この5年間の時の移り変わりに今更ながら驚かされます。

それに引き替え、ロータリアンとしての自分は、漫然と馬齢を重ねた感もあり、2度目の会長職を基に、もう一步踏み込んだロータリアンに成長できるように頑張ってみようかと思う今日この頃です。

会員の皆様、今後とも私を見捨てずによりしくお願いいたします。



若鍋武良

生年月日 昭和18年10月21日
入会年月日 平成22年3月11日
職業分類 語学研究
夫 人 若鍋三枝子

第二の人生を歩んで

あと2年足らずで人生の節目の70歳「古希」を迎える年になりました。

8年前に定年退職し、「第二の人生」を歩む時には、仕事という肩の荷が下り、夢・希望溢れるスタートでした。今特に強く印象に残っている思い出としては、退職した年の7月から10月にかけて17ヶ国を訪問した船の旅と、退職後習得したスペイン語で、スペインの学校で教えた体験を「高円宮杯創設記念・第42回全日本スペイン語弁論大会」で発表し、朝日新聞社賞を受賞したことでした。

その時のタイトル“*Más vale viejo que nunca.*”（老いても何もしないよりまし）は、今でも私の励みになっています。ラテン系諸国の文化や言語に憧れての8年間でした。

これからは幅広くロータリーの会員としての喜び、楽しみを求めていきたいと願っています。



渡辺 務

生年月日 昭和36年4月25日
入会年月日 平成6年1月1日
職業分類 アルミ建材販売
摘 要 2004~05 年度会長
夫 人 渡辺由美子

5年ごとの節目をむかえ、月日の経過を大変短く感じます。しかし5年前に小学校中学年の長女は高校受験、まだ幼稚園であった次女は小学校高学年となっていることを思うと、確実に歳を重ねているのだと実感します。

自分自身も二度の選挙を経験し公的立場としての末席を汚すようになり、環境の変化に驚くばかりです。その間、ロータリーでは分区幹事を仰せつかった折、ガバナー補佐のお供として各クラブ訪問に伺い、クラブごとの雰囲気や例会の違いを肌で感じる事が出来ました。また他クラブのメンバーの皆さんとも知り合うことで大いに触発された思いです。

ロータリー入会以来18年間、自分のさまざまなシーンでの判断基準に「四つのテスト」を心がけていますが、いまでもその普遍性に驚かされます。公的立場でも私の判断・決断を力強く後押ししてくれるのがこの「四つのテスト」です。そして機会あるごとに寛容に的確にいろいろと教えてくださる先輩ロータリアンの友情に感謝しながらこれからも出席を続けたいと思います。



山田昌雄

生年月日 昭和22年10月1日

入会年月日 平成21年1月8日

職業分類 陶芸家

夫 人 山田麗子

写真：前列左・春菜、右・汐夏

我が家の宝

結婚50年、色々な思い出がありますが、子供達が健やかに成長したこと、そして何よりも娘にこんな大きな授かり物があったことが自分と妻を支える力です。

そう、何物にも代え難い我が家の宝です。少々の夫婦の争いはお互いに子供達の話にすり替えれば全て収まります。その「やや子」が今では小学校5年生・2年生になって、私達夫婦はこの子供達にやっつけられるじじ・ばばの役割を見事に演じられる様になりました。

陶芸は「闘う芸」、「盗む芸」、そして行き着く先が「陶すえの芸」と言われます。一手抜けば必ずしっぺ返しが来ます。

富津中央ロータリークラブの諸先輩の含蓄のある言葉を聞きながら、今生きている幸せを感じる毎日です。

我が人生にしっぺ返しが無いよう、これからも頑張ります。

40周年誌に追加する5年間の記録

第42代 2007～08(平成19～20)年度

会長：大網庄一郎、幹事：原田雅式

- ①3月7日～9日 陳仁徳氏のガバナー就任祝と第3470地区地区大会出席の為嘉義南区扶輪社訪問。参加12名。
- ②4月27日 前年度8月開催の「がらくたコンサート」が新世代育成活動として地区協議会にて表彰。

第43代 2008～09(平成20～21)年度

会長：高島治雄、幹事：佐藤信泰

- ①石渡鋼会員、ガバナー補佐就任。
2月13日アカデミアホールにてIMを開催。
- ②2008年9月 クラブ定款・細則を改訂。
- ③3月25日 嘉義南区扶輪社授證30周年記念慶典に志波副会長以下6名が参加。
沈憲忠会長より記念盾が贈呈される。

第44代 2009～10(平成21～22)年度

会長：志波克、幹事：榎本守男

- ①8月6日 CLP導入に伴い2013年、2015年を目標とした「クラブ長期計画」を立案。
- ②3月18日 塩山ロータリークラブと姉妹クラブ締結更新。
- ③6月19～24日 カナダ・モントリオールでの国際大会に3名参加。

第45代 2010～11(平成22～23)年度

会長：原田雅式、幹事：平川恵敏

- ①9月30日 榎本守男会員に2011～12年度地区幹事の委嘱状が送呈される。
- ②1月13日 嘉義南区扶輪社より32周年記念式典(3月16日)の案内があり訪台を計画していたが、3月11日の東日本大震災の為、延期。

第46代 2011～12(平成23～24)年度

会長：小野恒靖、幹事：須藤隆

- ①榎本守男会員、地区幹事に就任。11月5～6日開催の地区大会で当クラブはコ・ホストを務める。
- ②10月13日 佐久間清治富津市長、嘉義南区扶輪社趙貴賢社長以下21名を迎え、創立45周年記念例会を開催。同クラブと姉妹クラブ締結更新。
- ③3月25日 塩山ロータリークラブ創立40周年記念例会出席のため、小野恒靖会長以下12名が同クラブを訪問。
- ④5月5～10日 タイ・バンコクにて開催の国際大会に9名が参加。

編集後記: 今年はずの外暑い。連日の様に30度を超え、時には体温を越す気温が各所で記録されている。自然は怒っているのかなと思いたくなる。

この40～45年度に亘る5年史は今までの各記念誌の累積の上に生まれたものだが、温故知新というか、今回はより親しみの持てるものになる様心掛けた。写真の多い活動記録、会員の自由投稿、そして全会員紹介等である。当クラブ特有の暖かさを感じて頂けたらこの上ない喜びである。

終わりに、構想と原稿集めに骨を折られた佐藤委員長、編集、印刷を一手にされた志波委員に深く感謝する。(高島 記)

45周年委員会

委員長：佐藤信泰 副委員長：石渡 鋼

委員：小野恒靖 須藤 隆 原田雅式 志波 克 高島治雄

45th
ANNIVERSARY

例会場：さざ波館 〒293-0042 富津市小久保 2 8 6 8 Tel. 0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
Meetings at Sazanami-kan 2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken, 293-0042 Japan
<http://www.futtsuchuo-rotary.org>

201208KS